



国立鹿児島工業高等専門学校

ヴィジュアル・アイデンティティー・マニュアル

National Institute of Technology, Kagoshima College

Visual Identification System Manual



はじめに

本マニュアルは2023年11月、国立鹿児島工業高等専門学校の開校60周年を記念して策定された新校章のロゴマーク・ロゴタイプ・基本色の「基本要素」及び使用上のルールをまとめたものです。

「基本要素」を本マニュアルで示したルールに従って適切に運用することで本校のヴィジュアル・アイデンティティの確立を目指します。

広報物に限らず、各種書類、ウェブサイト、映像、グッズ、看板など、新校章が使用される全てのケースにおいて本マニュアルをご活用ください。

はじめに	01
コンセプト	03
基本要素に関して	
ログマーク	04
ログタイプ	05
基本色	06
基本要素の組み合わせ	08
展開・使用に関して	
基本要素の配置	11
使用サイズ(目安)	14
基本要素の加工	15
背景に応じた使用	16
使用禁止例	17



コンセプト

鹿児島高専 × Positive Education

ポジティブ教育の2つの柱「自ら考え」「自ら学ぶ」を盾をモチーフに表現し、旧校章をよりシンプルに洗練しシンボル化。盾の右上が跳ねているのは、逆境に打ち勝ち、さらなる高みを目指していく様子、型やルールに囚われることなくより自分らしく高専から社会に飛び立って欲しいという願いを込めています。





原則マークのみで使用/ロゴタイプと組み合わせでの使用も可能

英語表記

National Institute of Technology,
Kagoshima College

KAGOSHIMA
KOSEN

日本語表記

鹿児島
工業高等
専門学校

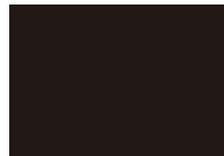
ロゴタイプ単体での使用不可

フルカラー(ロゴマークのみ)



CMYK ----- C:80% M:95% Y:50% K:10%
 DIC ----- 257
 RGB ----- R:79 G:44 B:87
 WEB ----- #4D2657

モノクロ(ロゴマーク単色使用時/ロゴタイプ)



CMYK ----- C:0% M:0% Y:0% K:100%
 DIC ----- 582
 RGB ----- R:0 G:0 B:0
 WEB ----- #000000

ロゴマークは原則フルカラー、用途に応じてモノクロを使用/ロゴタイプは常時モノクロを使用

フルカラー



National Institute of Technology,
Kagoshima College

KAGOSHIMA
KOSEN

モノクロ



National Institute of Technology,
Kagoshima College

KAGOSHIMA
KOSEN

ネガ表現(カラー背景)



ネガ表現(モノクロ背景)

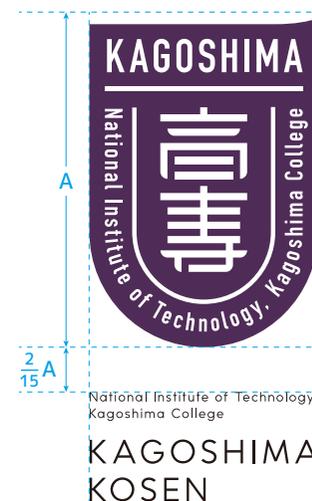


カラー・モノクロ表現の場合はロゴ内の構成要素は原則白を使用／ネガ表現の場合は白ヌキで使用(ロゴ内の構成要素は背景色)

英語表記1



英語表記2



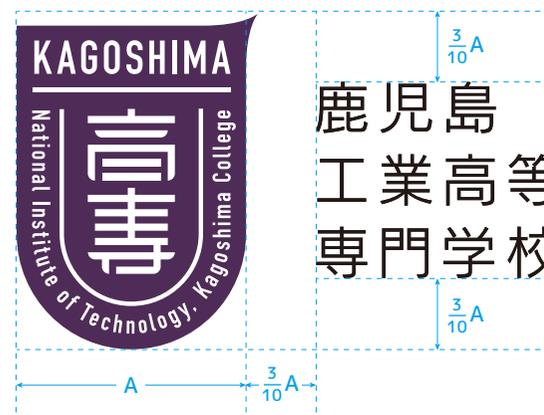
マーク横幅(右上の跳ねを除く)を基準に決定

指定のアイソレーション(余白)を守ること/本マニュアル指定のレイアウト以外での組み合わせは不可

日本語表記1



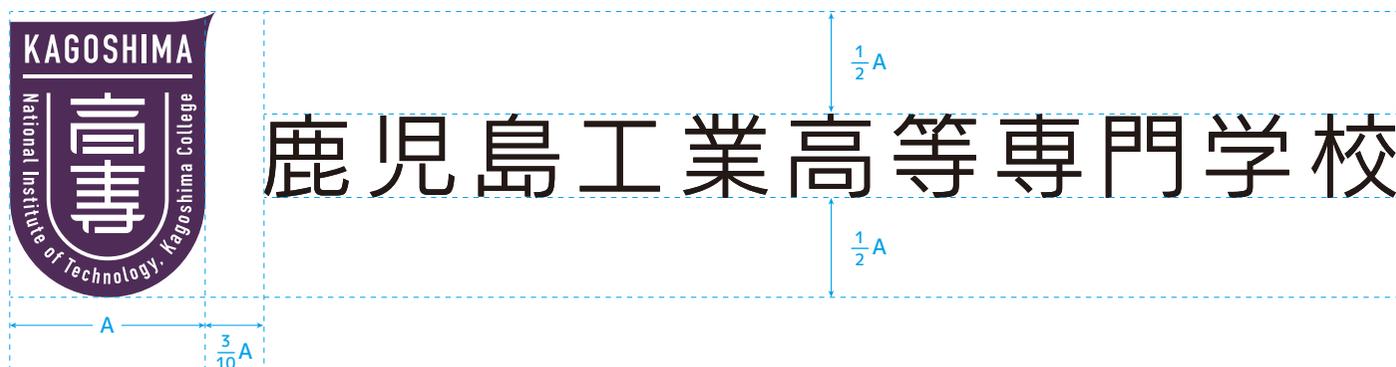
日本語表記2



マーク横幅(右上の跳ねを除く)を基準に決定

指定のアイソレーション(余白)を守ること/本マニュアル指定のレイアウト以外での組み合わせは不可

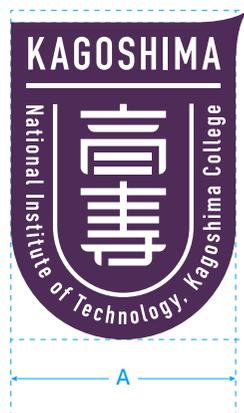
日本語表記3



マーク横幅(右上の跳ねを除く)を基準に決定

指定のアイソレーション(余白)を守ること/本マニュアル指定のレイアウト以外での組み合わせは不可

アイソレーション(余白)



マーク横幅(右上の跳ねを除く)の3分の1

他の文字情報・画像等と合わせて使用する場合、視認性を確保するために指定のアイソレーション(余白)を確保すること

アイソレーション(余白)



ロゴマークとロゴタイプを組み合わせる場合も同様
マーク横幅(右上の跳ねを除く)の3分の1

他の文字情報・画像等と合わせて使用する場合、視認性を確保するために指定のアイソレーション(余白)を確保すること

他情報との併用時レイアウト



校内プロジェクトや企業とのコラボ等で別ロゴ等と合わせて使用する場合(マークのみ)
 マーク横幅(右上の跳ねを除く)の3分の2の余白を持ち、罫線で区切ること

他のロゴ・文字情報と組み合わせて使用する場合はマークのみを使用/他のロゴ・文字情報と罫線で区切って使用

マーク単体



英語表記1



英語表記2



日本語表記1



日本語表記2



日本語表記3



デジタル媒体で使用する際も最低限の可読性を確保すること(最小サイズ規定なし)

使用する際は最低限の可読性を確保すること／印刷物での使用は規定の最小サイズを守ること

加工例: トリミング(切り取り)



加工例: 半透明処理



加工例: ドロップシャドウ



様々な加工を施すことで豊かな表現が可能になります。
 ただし校章の造形・品格が損なわれない範囲で加工すること。
 使用禁止例を参照し、可能な範囲のみで加工すること。
 加工を行う場合は控えめの加工を心がけること。

原則加工は可能(映像等のモーションも可) / 校章の造形・品格が損なわれない範囲でのみ加工可能



※斜線の箇所は背景とのバランスが不適当なもの

背景の色・濃度に合わせて必ずカラー表現・ネガ表現を使い分けること／背景が写真等の場合も同様



ロゴマーク・ロゴタイプの色を
変えてはならない



ロゴタイプのフォントを
変えてはならない



ロゴマーク・ロゴタイプを
変形・回転してはならない



ロゴマークとロゴタイプ以外の
文字を組み合わせてはならない



規定以外のレイアウトを
使用してはならない



ロゴマークを部分的に
変えてはならない



ロゴマーク・ロゴタイプを
グラデーションで表現してはならない



コントラストの強い背景を
使用してはならない



ロゴマークに線などを付けて
使用してはならない



視認性を損なう背景(パターン等)を
使用してはならない



ロゴマークをアウトラインで
表現してはならない



デザイン要素の上に文字等の
他の要素を配置してはならない

使用禁止例のような校章の造形・品格が損なわれるような表現はしないこと